

JSPFAD へご協力いただいた皆さまへ

【JSPFAD 検体のバイオマテリアルバンク・データベース使用への協力のお願い】

JSPFAD では、皆様のご協力により提供していただいた血液の検体、臨床情報、ゲノム情報の収集・保管を行なっております。保管された検体については、病態解明、発症予防法や治療法の開発等の研究推進のためバイオマテリアルバンク・データベース化し、各研究機関へ提供できるように整備を進めております。

保管の同意をいただいた皆様の検体・データの提供先・使用については、HTLV-1 ホームページにて記載しております。(http://www.htlv1.org/)

もし、保管検体・データの使用についてご同意をいただけない場合には、お手数ですが下記く問い合わせ・連絡先へまでご連絡ください。あなたの検体・データの使用・提供を中止いたします。同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

以下の内容をご確認ください。

- 検体・データ提供先機関は一覧(別紙1)にて掲載しております。
- 検体・データの提供は、東京大学の倫理審査委員会で審査され、研究科長・部局長の承認を受けて行われます。さらに熊本大学大学院生命科学部研究倫理委員会の承認も受けております。
- 提供対象は JSPFAD にご協力いただいた方で、関連研究の為に検体の保管に同意があった方の保管検体・データです。
- 保管検体・データを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはありません。ご協力いただいた方への謝礼等もありません。
- 使用する検体・データは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関して厳重に管理し提供いたします。
- JSPFAD が収集・保管・提供するデータには臨床診療情報も含まれます。臨床診療情報を提供する場合、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関して厳重に管理します。提供に伴い、JSPFAD 参加施設の担当医師に臨床診療情報の詳細・経過等を確認し、データに追加反映することがあります。
- 検体は全ゲノム解析を行う場合があります。
- 研究の成果やデータは、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合や、データベース(公的、大学、企業、有償、無償、海外を含む)へ登録され研究機関に利用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。
- 研究の結果、知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は JSPFAD・各研究機関に帰属し、あなたには帰属しません。
- 特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

<問い合わせ・連絡先>

研究責任者

野坂 生郷 熊本大学病院 がんセンター 外来化学療法センター

電話 096-373-5799(代)

(別紙1)

【検体・データ提供先機関一覧】

2021年1月現在

東京大学大学院新領域創成科学研究科

- ・研究責任者：内丸薫教授
 - 「ATL、HTLV-1 感染症の分子基盤創出のための研究」
 - 「Indolent ATL における分子標的の同定と新規阻害薬の薬効評価」
 - 「ATL におけるメチル化ヒストンの定量と新規阻害薬のバイオマーカー探索」
 - 「CD30 陽性 HTLV-1 感染細胞のゲノム異常による ATL 発症バイオマーカーの同定」
- ・研究責任者：中野和民准教授
 - 「HTLV-1 研究の新展開を目指した HTLV-1 Rex の新たな機能的側面の探索」
 - 「抗 CADM1 アルパカ VHH 抗体を用いた HTLV-1 感染 T 細胞特異的薬剤輸送システムの開発」
- ・研究責任者：山岸誠特任講師
 - 「ATL に対する Lenalidomide の作用機序解明に関する研究」

国立感染症研究所

- ・研究責任者：浜口功部長
 - 「ATL 発症予防薬の開発に関する研究」※
- ・研究責任者：斎藤益満主任研究官
 - 「成人 T 細胞白血病における HTLV-1 変異解析と挿入部位解析」※
 - 「ATLL 及び B 細胞性リンパ腫発症リスク評価・判定法の開発」※
- ・研究責任者：池辺詠美研究員
 - 「成人 T 細胞白血病・リンパ腫(ATL)の新規治療薬剤の開発」

国立感染症研究所エイズ研究センター

- ・研究責任者：俣野哲朗センター長
 - 「HTLV-1 感染者の HTLV-1 特異的免疫反応に関する研究」

横浜市立大学医学部

- ・研究責任者：梁明秀教授
 - 「HTLV-1 感染患者由来検体を用いた新規予防ワクチン開発に向けた疫学的解析」※

京都大学大学院医学研究科

- ・研究責任者：片岡圭亮特定助教
 - 「ATL における遺伝子異常の臨床的意義の解明」※
 - 「ATL におけるノンコーディングゲノム異常の解明」※

京都大学大学院医学研究科附属ゲノム医学センター

- ・研究責任者：松田文彦教授
 - 「ヒトとウイルスのゲノム情報と臨床情報の統合による HTLV-1 関連疾患の診療支援全国 ネットワークの確立」

佐賀大学医学部

- ・研究責任者：木村晋也教授
 - 「HTLV-1 キャリア及び indolent ATL を対象とした DNA メチル化異常と予後の関係性を検討するための後方視的臨床研究」※
- ・研究責任者：勝屋弘雄助教
 - 「HTLV-1 とヒトゲノムのキメラトランスクリプトによる ATL 発症機序の解明」※

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

- ・研究責任者：岩永正子
「ATL 発症高危険群の同定を目指す HTLV-1 感染者コホート研究」※

長崎大学病院

- ・研究責任者：長谷川寛雄准教授
「HTLV-1 感染細胞における新規コロナリティ検査法の検討」※

熊本大学大学院先端機構

- ・研究責任者：佐藤賢文准教授
「ATL, HAM, 無症候性キャリア検体における高精細プロウイルス配列解析」※
「ATL 検体における高精細 HTLV-1 トランスクリプトーム研究」※

熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター（旧エイズ学研究センター）

- ・研究責任者：佐藤賢文教授
「ATL, HAM, 無症候性キャリア検体における高精細プロウイルス配列および APOBEC 遺伝子多型解析」※
「Dynamic evolution and different pathogenesis of HTLV-1 across multiple continents revealed by next generation sequencing technology」※
「経時的感染者検体の多角的・高精細研究アプローチによる HTLV 病原性発現機序解明」※
- ・研究責任者：勝屋弘雄特任助教
「ATL 感染患者検体における高精細 HTLV-1 プロウイルス研究」※

宮崎大学医学部機能制御学講座腫瘍生化学分野

- ・研究責任者：森下和広教授
「CADM1 を含む HTLV-1/ATL 患者血中新規診断マーカーの探索並びに有用性の検討」※
「ペルーにおける HTLV-1 重複感染による高頻度 ATL 発症の比較ゲノム解析」※

琉球大学大学院医学系研究科

- ・研究責任者：森島聡子准教授
「HLA の異常に基づく成人 T 細胞白血病リンパ腫の個別化免疫療法を目指した基礎的研究」※
- ・研究責任者：水口真理子助教
「ATL における制御性 T 細胞の選択的な増殖機構：OX40L/OX40 に着目して」※
- ・研究責任者：崎浜秀悟助教
「沖縄県における成人 T 細胞白血病／リンパ腫のゲノム解析」※

(※は科研費研究課題名)